



CANARE

2026 年度

中間報告書

第54期

令和8年1月1日～6月30日



力九し電気株式会社
www.canare.co.jp

証券コード：5819



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第54期（2026年12月期）中間報告書をお届けするにあたり、
当社グループの業績概要についてご報告申し上げます。

代表取締役社長
野田 爾

中間期の概要について

当中間期（2026年1月～6月）の当社グループを取り巻く経営環境は、国内においては、人件費の上昇、資源・エネルギー価格の高騰、為替変動などの影響によりインフレーション傾向が継続し、依然として不透明感が残る厳しい状況が続きました。海外においては、緩やかな景気拡大が続いているものの、米国関税政策や中東情勢の悪化などの地政学リスクの高まりから不安定な状況となりました。

こうした経営環境に対応するため、当社グループは、国内市場において既存事業の強化、車載・マシンビジョンなどの新市場開拓、お客様ごとにカスタマイズされたソリューションビジネスの展開を図るとともに、海外市場への積極的な拡販活動に取り組んでまいりました。

その結果、国内市場では、電設分野においてアジア地域を中心としたスポーツ大会向けの工事材料および放送中継機材

の納入に加え、イベント・エンターテインメント施設向け案件も堅調に推移し売上に寄与しました。放送分野では、宮崎放送新社屋空間工事などへの納入はあったものの、前期に計上したNHK案件の減少分を補えず、国内売上高は前年同期比3.6%減の31.3億円となりました。

海外市場においては、中東情勢や経済情勢など不安定要因が続くなか、中国市場やインド市場では納入案件が減少しました。一方で、米国市場ではシステムインテグレータやディーラ向けの納入が堅調に推移し、着実な販売を維持しました。この結果、円安基調継続もあり、海外売上高は、前年同期比9.5%増の35.0億円となりました。

以上の結果、当中間期は売上高66.3億円（前年同期比2.9%増）、営業利益8.8億円（前年同期比0.4%減）、純利益6.3億円（前年同期比1.8%減）となりました。中間配当金につきましては当初予定どおり、1株当たり33円とさせていただきました。

下半期について

当社グループは、中期的な事業成長の実現に向け「ビジネス展開エリアの拡大」と「商材価値領域の拡大」を重要な経営テーマとしております。ビジネス展開エリアの拡大に向けては海外事業基盤の強化を図っており、商材価値領域の拡大に向けては、ソリューションビジネスの強化、新市場開拓およびIP製品の拡販を推進してまいりました。

こうした取り組みを通じて、短期的な成果のみならず、将来にわたる持続的な成長基盤の構築を目指して、下半期においても、以下の重点施策に取り組んでまいります。

①海外事業オペレーションの強化

海外市場では国や地域ごとに顧客ニーズが大きく異なります。このような状況に対応するため、製品未普及地域への開拓強化や現地ニーズへの製品開発を進めるとともに、製品納入後も現地で製品の修理対応を行う拠点を増やすなど、より顧客に近い事業運営体制の構築を目指してまいります。

②ソリューションビジネスの強化

競技場や放送局などに向けて顧客が抱える課題を解決するのみならず、顧客が目指す姿の実現に貢献できるよう取り組んでまいります。そのために、製品納入に加えてシステムのご提案から施工までソリューションを一括で担えるビジネスの確立に向けた活動を展開してまいります。

③技術転用による新市場の開拓

長く放送分野で選ばれてきた当社の信頼性の高い製品は、

車載カメラやマシンビジョン、イベント照明、医療現場などでも選ばれるポテンシャルを秘めた製品でもあります。市場ニーズの把握と用途提案を強化し、新たな顧客層の開拓に取り組んでまいります。

④将来に向けたIP製品の開発

今後の成長領域と位置付けているITネットワーク関連製品につきましては、展示会などで積極的に販促活動に取り組み、徐々に成果が出てきております。顧客との対話を通じて得られた市場ニーズを今後の製品開発に反映し、さらに普及のスピードを上げることに注力いたします。

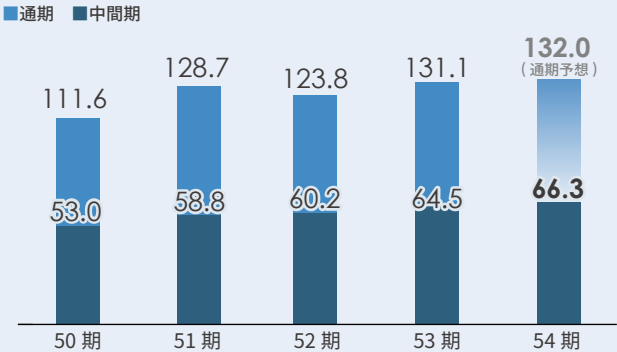
こうした活動を踏まえた通期の業績予想としましては、売上高132.0億円（前期比0.6%増）、営業利益14.8億円（前期比6.4%減）、純利益11.8億円（前期比1.7%減）を見込んでおります。なお、期末配当金につきましては33円、年間計66円を予定しております。

当社グループを取り巻く事業環境は依然として不透明な状況が続いておりますが、ビジネス展開エリアおよび商材価値領域の拡大に向けた取り組みを着実に推進しております。これらの取り組みは、海外市場における販売機会の拡大や新たな市場分野からの引き合い獲得などにつながり始めており、中長期的な成長基盤の強化に手応えを感じております。短期的な業績のみならず、中長期的な企業価値向上を見据え、事業基盤の強化と成長領域への施策に注力してまいります。株主の皆様には、当社の取り組みへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

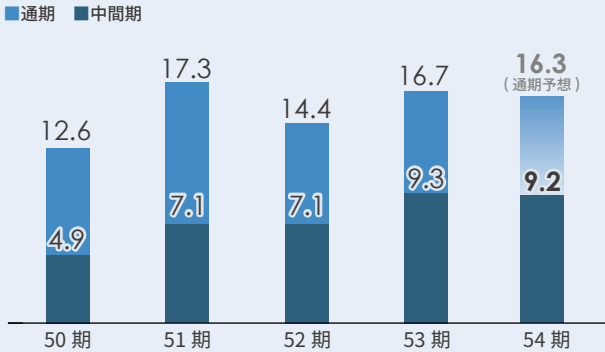
中間期連結業績概要

	前年同期	当中間期	
売上高	64.5 億円	66.3 億円	⬆
営業利益	8.9 億円	8.8 億円	⬇
経常利益	9.3 億円	9.2 億円	⬇
中間期純利益	6.4 億円	6.3 億円	⬇
1株当たり中間期純利益	94.7 円	92.7 円	⬇
総資産	198.8 億円	212.7 億円	⬆
純資産	183.1 億円	196.1 億円	⬆
1株当たり純資産	2,677 円	2,858 円	⬆
自己資本純利益率（ROE）	3.6 %	3.3 %	⬇

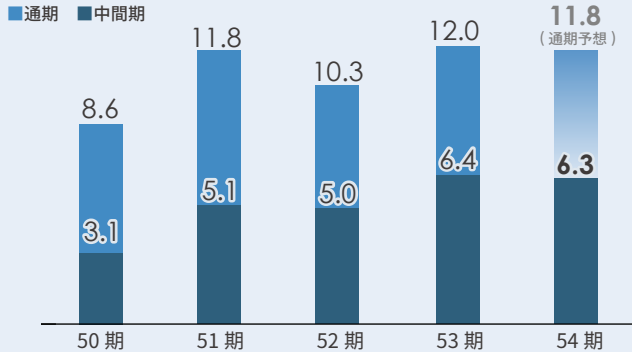
売上高（億円）



経常利益（億円）

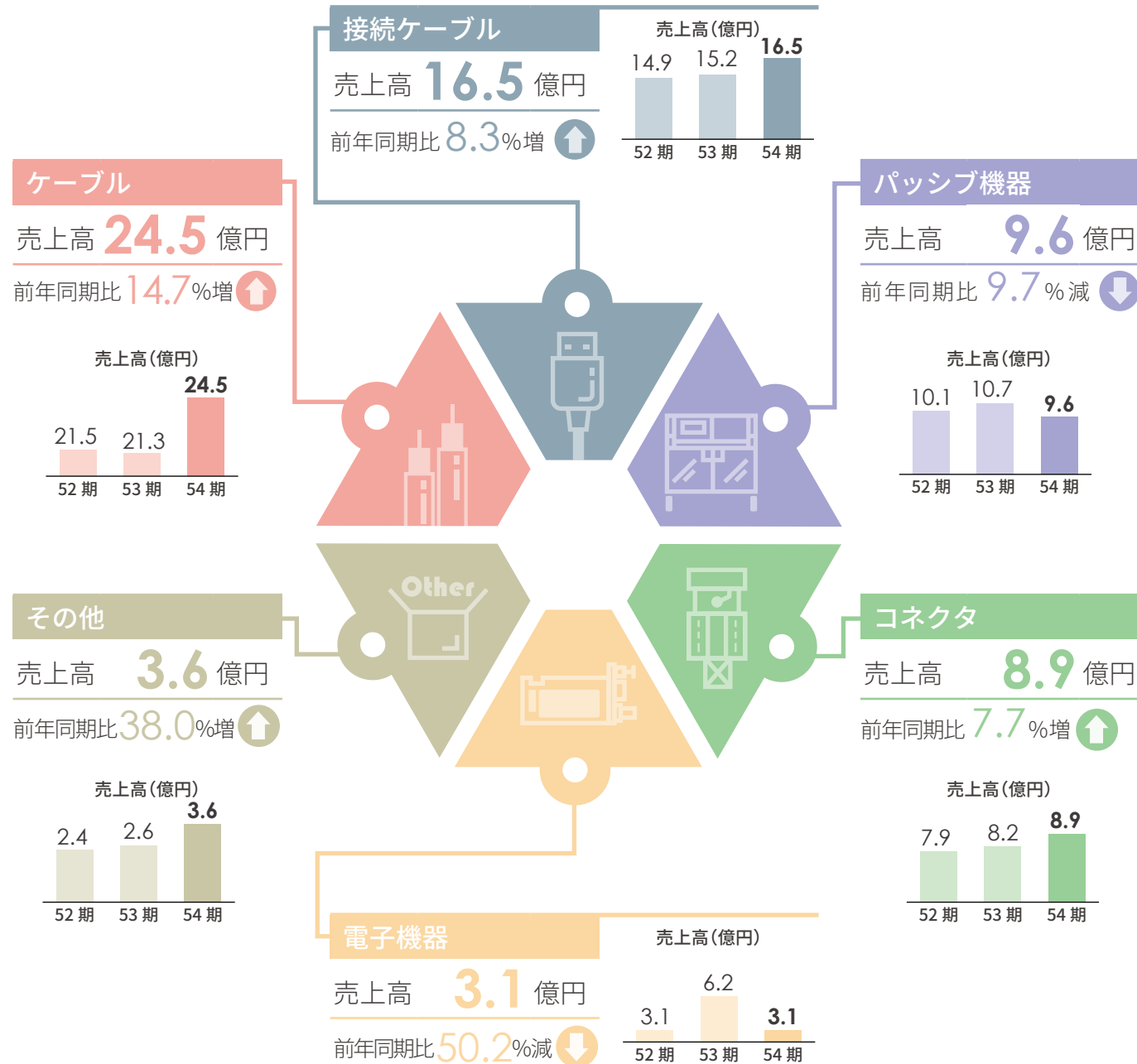


純利益（億円）

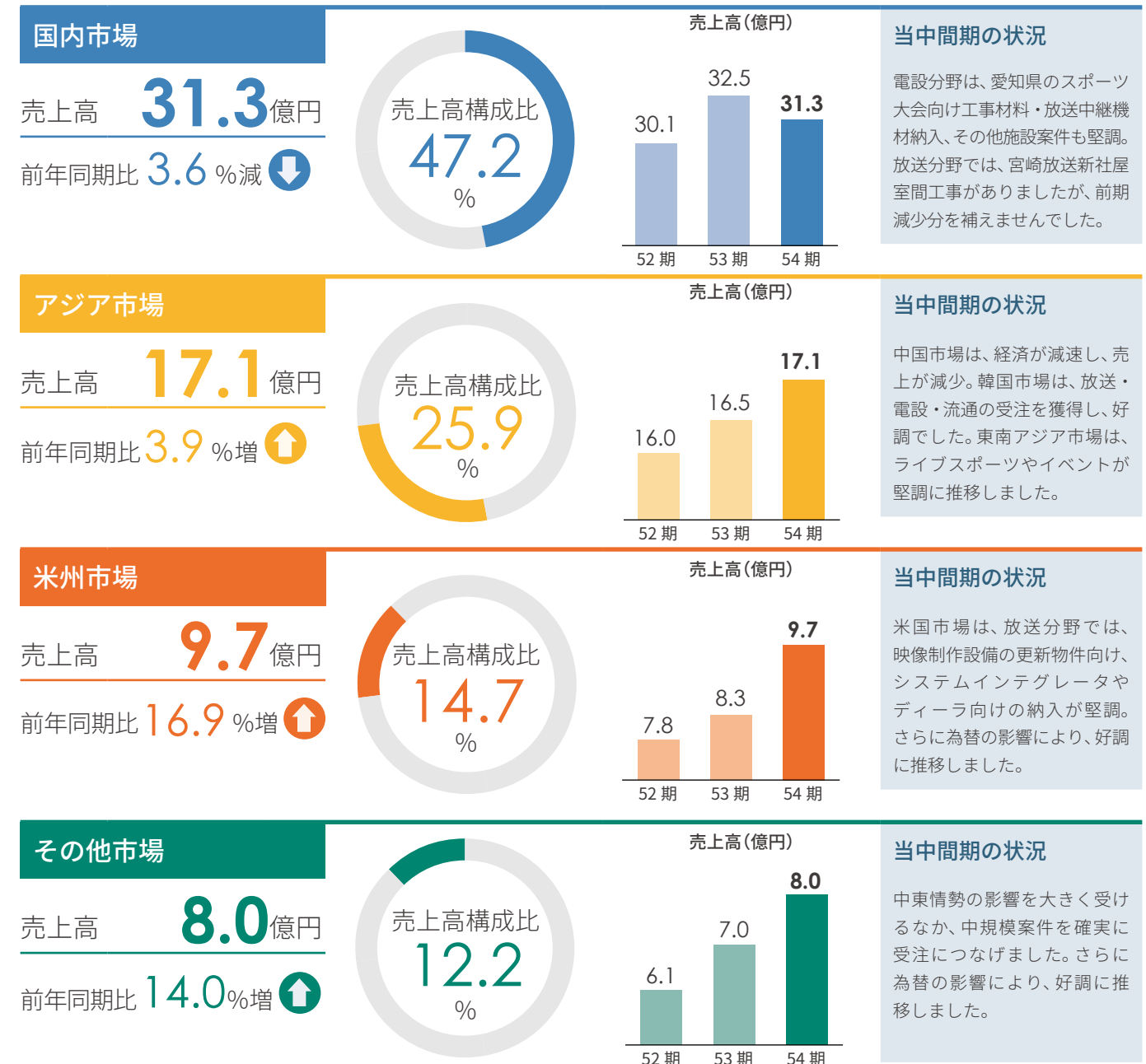


【ご注意！】通期予想は、現在入手可能な情報を基に慎重に策定しておりますが、さまざまな要因の変化から、実際とは大きく異なる可能性がございます。予めご承知ください。

製品別売上高



地域別売上高



中間期連結財務諸表

中間期連結貸借対照表の要旨

(単位 千円)

資産の部		中間期 2026.6.30	前年同期 2025.6.30
流動資産		13,822,485	13,907,223
現金および預金		8,745,136	9,037,641
受取手形および売掛金		1,503,737	1,395,202
棚卸資産		3,210,458	3,076,367
その他		374,946	405,675
貸倒引当金		▲ 11,792	▲ 7,663
固定資産		7,456,538	5,975,251
有形固定資産		2,139,537	2,042,409
建物および構築物		973,857	1,034,824
機械装置および運搬具等		364,079	204,214
土地		801,600	803,369
無形固定資産		23,872	24,663
投資およびその他の資産		5,293,127	3,908,178
資産合計		21,279,023	19,882,474

Point 流動資産 その他

・加工委託先への有償材料支給 111百万円
・前払費用 111百万円

Point 固定資産 投資およびその他の資産

・投資有価証券 2,991百万円
・長期預金 2,100百万円

負債の部		中間期 2026.6.30	前年同期 2025.6.30
流動負債		1,386,782	1,412,850
買掛金		588,863	562,575
未払金		127,250	135,353
賞与引当金		94,913	95,033
役員賞与引当金		8,899	17,366
その他		566,857	602,521
固定負債		280,770	152,029
退職給付に係る負債		29,758	28,555
役員退職慰労引当金		18,175	46,410
その他		232,836	77,064

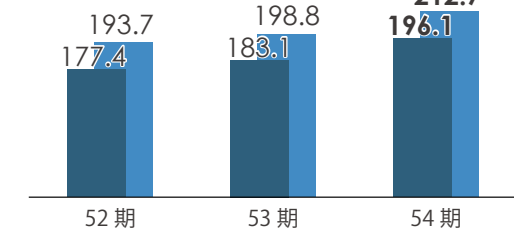
Point 流動負債 その他

・未払法人税など 223百万円

Point 固定負債 その他

・リース負債 169百万円

財産状況推移(億円)
(中間期連結)



純資産の部		中間期 2026.6.30	前年同期 2025.6.30
株主資本		18,009,636	17,236,304
資本金		1,047,542	1,047,542
資本剰余金		1,208,564	1,196,240
連結剰余金		15,953,056	15,215,202
自己株式		▲ 199,527	▲ 222,680
評価・換算差額等		1,601,834	1,081,290
その他有価証券評価差額金		413,429	304,721
繰延ヘッジ損益		▲ 595	483
土地再評価差額金		▲ 371,051	▲ 371,051
為替換算調整勘定		1,560,052	1,147,136
負債・純資産合計		21,279,023	19,882,474

Point 営業外収益

・受取利息・配当金 57百万円

Point 営業外費用

・支払利息 7百万円
・賃貸原価 13百万円

Point 営業活動によるキャッシュ・フロー

・税引前純利益 929百万円
・減価償却費 109百万円
・売上債権の増加 ▲189百万円
・買掛・未払金の減少 ▲180百万円
・法人税等の支払額 ▲298百万円

Point 投資活動によるキャッシュ・フロー

・定期預金の払い戻し超による収入 16百万円
・有形固定資産の取得による支出 ▲45百万円
・投資有価証券の取得による支出 ▲508百万円

Point 財務活動によるキャッシュ・フロー

・配当金の支払額 ▲259百万円
・リース債務の返済 ▲43百万円

中間期連結損益計算書の要旨

(単位 千円)

科目	中間期 2026.1.1~6.30	前年同期 2025.1.1~6.30
売上高	6,638,663	6,452,068
売上原価	3,810,395	3,639,105
売上総利益	2,828,268	2,812,963
販売費および一般管理費	1,938,338	1,919,436
営業利益	889,929	893,527
営業外収益	67,306	58,250
営業外費用	28,212	18,059
経常利益	929,023	933,719
特別利益	-	-
特別損失	-	37,046
税金等調整前中間期純利益	929,023	896,672
法人税、住民税および事業税	254,753	304,983
法人税等調整額	38,946	▲ 55,191
中間期純利益	635,323	646,880

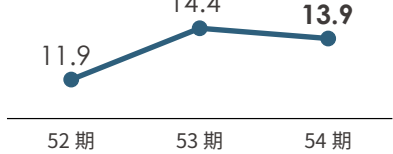
中間期連結キャッシュ・フロー

(単位 千円)

	中間期 2026.1.1~6.30	前年同期 2025.1.1~6.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	340,677	786,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 508,527	▲ 2,173,609
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 303,341	▲ 233,872
現金および現金同等物に係る換算差額	48,577	▲ 86,192
キャッシュ・フロー計	▲ 422,614	▲ 1,707,014

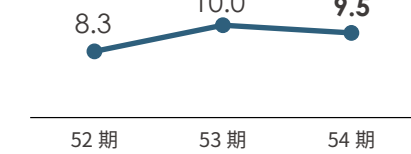
売上高経常利益率(%)

(中間期連結)



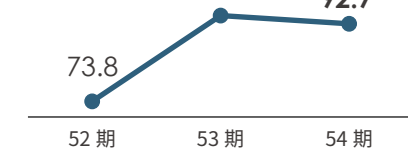
売上高純利益率(%)

(中間期連結)



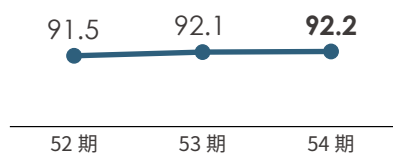
1株当たり純利益(円)

(中間期連結)



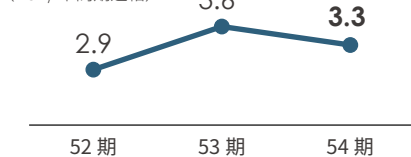
自己資本比率(%)

(中間期連結)



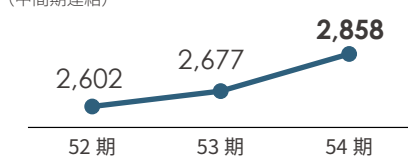
自己資本純利益率(%)

(ROE/ 中間期連結)



1株当たり純資産(円)

(中間期連結)



国際スポーツ
大会でも、
カナレ製品は
活躍して
おります

大型映像装置



映像用光コンバータ

超高精細映像の光伝送システムに採用される光コンバータ。



制御用光コンバータ

大型映像装置の制御に採用される光コンバータ。



接点光コンバータ

大型映像装置のON/OFFなどのスイッチ信号を伝送する光コンバータ。

中継用カメラ



光カメラケーブル

8K・4K・HD撮影の現場で活躍する光ケーブル。



光カメラコネクタ盤

競技場内の光回線と接続するためのコネクタ盤。



同軸ケーブル

柔軟性を重視した移動用同軸ケーブル。

国際放送センター・中継車



Active BNC

高精細4Kモニタに採用されるIC内蔵コネクタ。



ビデオパッチ盤

TV局の機器接続に多く使用されるビデオパッチ盤。



キーストーンパッチ盤

放送分野向けIPシステム用パッチ盤。



キーストーンアタッチメント

放送分野向けIPシステム用アタッチメント。



HDMI ケーブル

高精細映像に最適なHDMIケーブル。



LANケーブル

耐ノイズ性能が向上したCat6A LANケーブル。



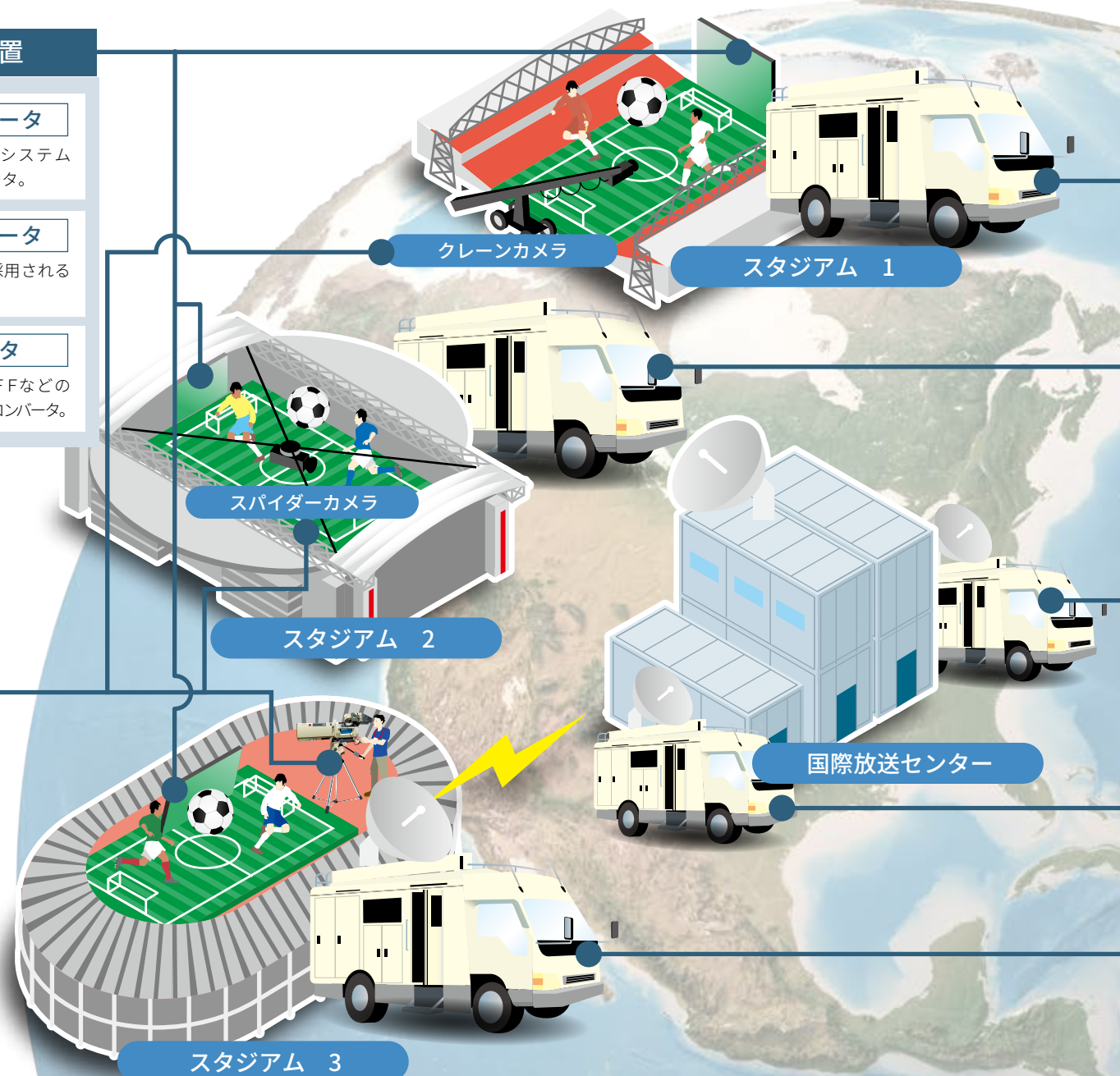
マイクロ BNC

ルータなどに使用される小型同軸コネクタ。



ハーフラック製品

パネルが小さいため、実装する筐体も省スペース化を実現。



会社概要

商 号 カナレ電気株式会社
 本 社 神奈川県横浜市港北区新横浜3-9-18 新横浜 TECH ビルA館6F(登記上の本社 愛知県日進市藤枝町)
 設 立 昭和49年(1974年)2月(創業:昭和45年)
 資 本 金 10億4,754万円
 従業員数 2026年6月30日現在 132名 / グループ: 258名(パート、派遣社員は含まず)
 事業所 新横浜本社、名古屋本社、名古屋営業所、大阪営業所、福岡営業所、物流センター

子会社

※子会社の記載順序は設立順です。

- 1 カナレハーネス株式会社
- 2 Canare Corporation of America
- 3 Canare Corporation of Korea
- 4 Canare Corporation of Taiwan
- 5 Canare Electric (Shanghai) Co.,Ltd.
- 6 Canare Electric Corporation of Tianjin
- 7 Canare Singapore Private Ltd.
- 8 カナレシステムワークス株式会社
- 9 カナレコネクティッドプロダクツ株式会社
- 10 Canare Electric India Private Ltd.
- 11 Canare Europe GmbH
- 12 Canare Middle East FZCO

取締役および監査役

代表取締役社長 野田 爾
 取 締 役 深津 正敏
 取 締 役 山田 幸男
 取 締 役 牧野 久直
 取 締 役 佃 靖博
 社外取締役 縄田 卓
 社外取締役 上野 有里
 常勤監査役 辻 重明
 監 査 役 三ツ目 純一郎
 監 査 役 服部 修

ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報を開示しております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

ホームページアドレス **www.canare.co.jp**



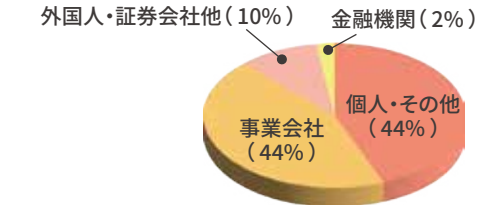
発行可能株式数 23,092,200 株

発行済株式の総数 7,028,060 株
 (内 自己株式数 167,523株)

単元株式数 100 株

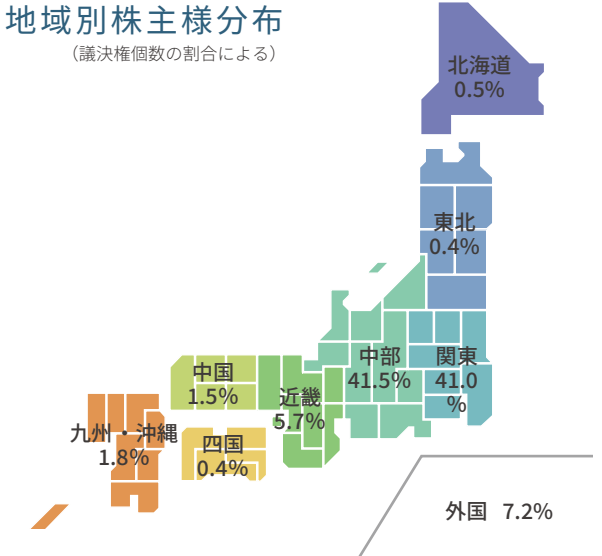
株主数 7,281 名
 (前中間期比 643名減少)

所有者別株主様分布 (議決権個数の割合による)



地域別株主様分布

(議決権個数の割合による)



IR情報に関するお問い合わせ先 経営管理部 安田 雅幸 TEL 045-620-7474(代)

Topics

東放学園専門学校にて技術体験授業を実施

カナレ電気では、サステナビリティ活動の一環として、メディア・プロAV業界を担う次世代技術者を育成する東放学園専門学校様にて、技術体験授業を実施しました。



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

配当の基準日 毎年6月30日および12月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
0120-782-031（フリーダイヤル）

同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社
本店および全国各支店

！ 住所変更も
証券会社へ

■住所・氏名など届出事項の変更について

証券会社等に口座をお持ちの株主様… 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

特別口座をお持ちの株主様 …………… 下記連絡先(三井住友信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。

なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。

■未受領の配当金のお受け取りについて

支払期間経過後の配当金については、三井住友信託銀行までお問い合わせください。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

三井住友信託銀行
証券代行部

0120-782-031（フリーダイヤル）

カネし電気株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-9-18 新横浜 TECH ビル A 館6F
TEL.045-620-7474(代) FAX.045-620-7456

